

(お知らせ)

2026年4月2日
沖縄電力株式会社

宮古支店管内における大規模停電について（第4報）

3月17日に発生しました宮古支店管内における大規模停電により、お客さまをはじめ地域の皆さま、関係する多くの方々に、多大なるご不便とご迷惑をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。

今回の停電は、宮古第二発電所においてトラブルが発生したことをきっかけに、複数の発電機が自動停止したことにより生じたものです。発電量が大きく低下したことで、宮古島全体の電力の需給バランスが保てなくなり、広い範囲で停電が発生しました。

当社では、この事態を極めて重く受け止め、停電が復旧した当日に「事故対策委員会」を設置しました。現在、今回の大規模停電に至った詳しい原因の調査と、同様の事象を二度と起こさないための再発防止策の検討を進めております。

これまでに確認された、大規模停電へ拡大した要因については別紙をご参照ください。

<停電概要>

最長停電時間：3月17日 14時28分～19時8分（4時間40分）

最大停電戸数：約26,600戸

停電地域：宮古島市

以上

(別紙) 大規模停電へ拡大した要因

大規模停電へ拡大した要因

1. 制御電源ケーブル損傷から3号機緊急停止（図1参照）

宮古第二発電所構内において実施していた制御電源ケーブルの撤去作業中、撤去対象外である類似の制御電源ケーブルを損傷しました。

この影響により停止した補機類（冷却ファン等）の復旧時に、所内変圧器に大きな負荷がかかり保護装置が作動したことで、宮古第二発電所3号機が緊急停止しました。

2. 電力系統の需給バランス変動による発電停止（図2参照）

事故当時、宮古第二発電所では発電機3台が稼働しており、1台が停止しても残る発電機の出力で電力供給を維持できる体制で運転していました。

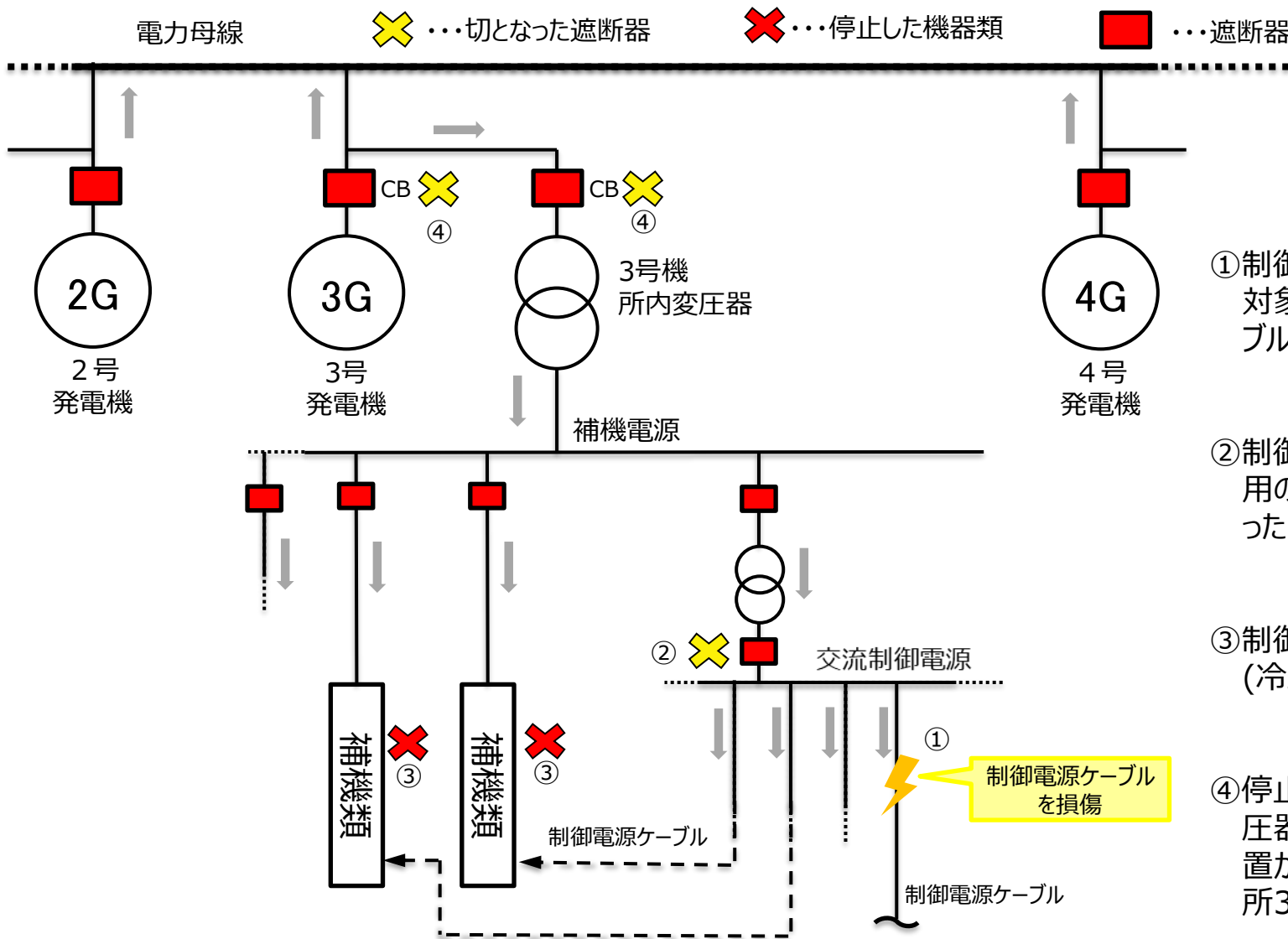
しかし、3号機の緊急停止により電力の供給と需要のバランスが短時間で大きく変化しました。その影響を受け、島内に点在する多くの分散電源（太陽光や風力など）が停止しました。

3号機及び分散電源の停止により、発電量が急激に減少し、残る発電機だけでは電力需給のバランスを保てなくなったため発電機の安全装置（過負荷運転などによる設備損傷防止）が作動し、結果として全ての発電機が停止する事態となりました。

これらの一連の動作は、非常に短い時間の中で連鎖的に発生しており、電力系統としては複雑な挙動となっています。現在、検証を行っており、より詳細な原因分析と再発防止策の検討を進めています。

以上

図 1 : 制御電源ケーブル損傷から3号機緊急停止の経緯



- ① 制御ケーブルの撤去作業中、撤去対象外である類似の制御電源ケーブルを損傷した。
- ② 制御電源ケーブルの短絡により配線用の遮断器が保護動作で“切”となった。
- ③ 制御電源が切れた3号機の補機類(冷却ファン)が停止した。
- ④ 停止した補機の復旧時に、所内変圧器に大きな負荷がかかり保護装置が作動したことで、宮古第二発電所3号機が緊急停止した。

